

外国人観光客へ燕三条のおもてなしを。

インバウンド事業

燕三条地場産業振興センターでは、海外の旅行社などを中心に燕三条の魅力を発信し、急増する外国人観光客を燕三条にも誘客する取組をしています。平成27年度は、燕三条と同じくものづくりを観光資源の柱としている富山県南砺市と協働で、国の支援のもと、シンガポールに対しての誘客促進事業を行いました。平成27年5月には「ファミトリップ」で、現地旅行社のツアー造成ご担当者などを燕三条へお招きして、観光プレゼンテーションを行った後、ものづくりの現場を見ていただき、燕三条の食を味わっていただくことによって、燕三条の魅力を体感いただきました。また、平成28年1月には南砺市長様や当センター理事長はじめ関係者がシンガポール現地へ出向き、約80名の業界関係者にお集まりいただき、観光プレゼンテーションを行ってきました。これらの活動も手伝って、現地旅行社のツアーを中心にシンガポールから多くのお客様にお越しいただいています。今後もこうした取組を通じて、産業観光を基軸に、免税店となった燕三条地場産業振興センターの物産館との相乗効果で、ますます外国人旅行客の拡大を図ってまいります。



リサーチコアでは、企業支援のために様々なご相談を承っています。少しでも困ったことや知りたいことがありましたら、まずはお気軽にご相談ください。

- 企業紹介**
に関するご相談
- 新商品企画
デザイン**
に関するご相談
- 技術**
に関するご相談
- 特許**
に関するご相談
- IT活用**
に関するご相談
- 支援制度**
に関するご相談
- 専門家**
(技術・特許・IT・経営)
を派遣します。

TEL.0256-35-7811 FAX.0256-32-0447
www.tsjiba.or.jp

リサーチコアレポート vol.10

Researchcore Report

リサーチコアの出来事、情報を皆様にお届け——。

2016年3月発行



燕三条地場産業振興センター



世界へ羽ばたく
燕三条!!

評価も上々!!

○海外展開 報告 (メゾン・エ・オブジェ・パリ、アンビエンテ)



2nd Report

○マレーシア調査ミッション

Others

○インバウンド事業



海外展示会に出展 世界に向けて燕三条を発信!

メゾン・エ・オブジェ・パリ 2016年1月展

開催期間:平成28年1月22日(金)~26日(火)
会場:ノール・ヴィルパント見本市会場
出展社数:2,978社(59カ国)
来場者数:76,417人
共同出展:(株)青芳製作所、新潟精密鑄造(株)

○出品企業:19社
(株)角利製作所、(株)片岡製作所、(株)キッチンプランニング、(株)玉川堂、ササゲ工業(株)、(株)諏訪田製作所、(株)タケダ、燕振興工業(株)、藤次郎(株)、(株)トーダイ、日野浦刃物工房、プリンス工業(株)、(株)マルト長谷川工作所、マルナオ(株)、monge、山崎金属工業(株)、(株)山崎研磨工業、(有)山谷製作所、(株)ヨシカワ

「メゾン・エ・オブジェ」は、フランス・パリで年に2回開催される世界最高峰のインテリア&デザイン関連の展示会です。今回開催された1月展には、燕三条地域企業2社と共同出展いたしました。

燕三条ブースには、共同出展企業を含めて21社分のデザイン性に優れた高品質な”燕三条”製品を展示いたしました。

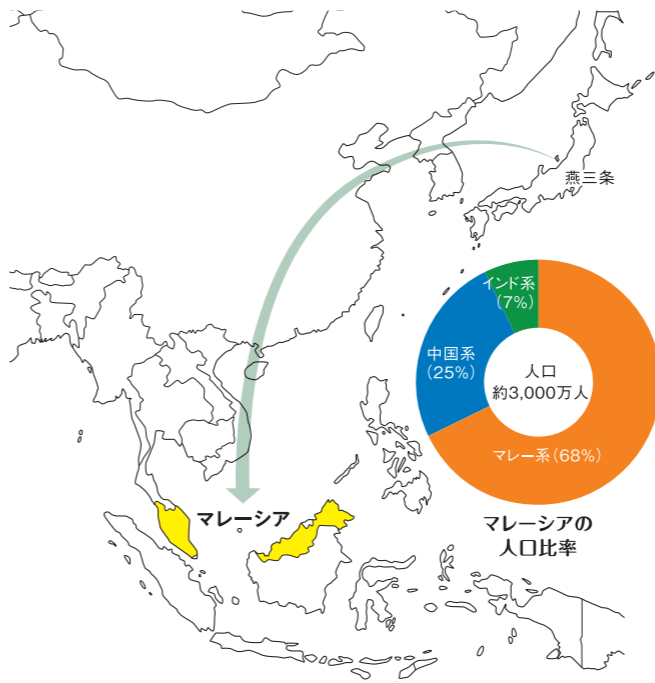
昨年11月に発生したテロ事件の影響が懸念される中での出展でしたが、燕三条の製品に興味がある主にバイヤーやレストラン関係者から商談の機会や多くの問い合わせをいただきました。今後も燕三条の魅力ある製品の海外販路開拓とPRのために、地域企業をサポートしていきます。



マレーシアで市場調査

マレーシアにおける燕三条製品の販路開拓の可能性を調べるため、業界代表の皆様と同国に進出した日系企業などを訪問して市場調査してきました。

マレーシアは人口3,000万人、このうちマレー系(約68%)、中国系(約25%)、インド系(約7%)から構成される多民族国家です。また、一人当たりのGDPは約10,000ドル、平均世帯月収が約5,000リンギット(約140,000円)、平均年齢が約28歳の国です。



今回訪問した日本からの進出企業は、客先がタイやマレーシアへ進出したことを切っ掛けとしてマレーシアに工場を作り、取引先企業の動向や景況などによって厳しい時期もあったそうです。現在はタイやインドネシアへ部品を輸出する際に関税がかからないため、マレーシアを拠点として各国へ部品を輸出して利益を確保しておられました。

産油国でもあるマレーシアの経済は原油安やリンギット安によって厳しい状況にあり、アジア全体の景気も足踏み状態が続いていると異口同音におっしゃっておりましたが、首都クアラルンプールでは建設ラッシュの真っ最中でした。同国の2016年の経済成長率が4.5%を下回ると予想されているとはいえ、人件費は年間約4%程度上昇して購買力は徐々に高まっている様子でした。

マレーシアは国民の平均年齢が若く、安定した政情の元で経済が成長し、親日家が多いことから、今後の市場として期待できる国と感じました。



アンビエンテ2016

開催期間:平成28年2月12日(金)~16日(火)
会場:フランクフルト国際見本市会場
出展社数:約4,800社
来場者数:約137,000人
共同出展:(株)青芳製作所、オクス(株)、(株)三条特殊鑄造所、新潟精密鑄造(株)

○出品企業:19社
(株)角利製作所、(株)片岡製作所、(株)キッチンプランニング、(株)玉川堂、ササゲ工業(株)、(株)諏訪田製作所、(株)タケダ、燕振興工業(株)、藤次郎(株)、(株)トーダイ、日野浦刃物工房、プリンス工業(株)、(株)マルト長谷川工作所、マルナオ(株)、monge、山崎金属工業(株)、(株)山崎研磨工業、(有)山谷製作所、(株)ヨシカワ

「ambiente 2016」は、会場規模もさることながら「来場者が自社で扱えるものを十分に吟味し、契約の場としている」ことが、日本国内で開催される展示会とは異なると言われており、各ブースでは活発な商談が行われていました。

今回で6回目の出展となる当センターは、昨年と同じHall1.2、キッチントレンドに燕三条地域企業4社とともにブースを設け、燕三条製品の販路拡大と燕三条のPRに取組みました。

燕三条ブースを訪れた世界各国のバイヤーは、製品を手にとって品質を確かめると、企業担当者に製品説明を聞き、質問する様子が多々ありました。

引き合い件数は昨年同様だったものの、コンタクト件数は2倍となりました。今後は積極的にフォローアップを展開し、成約につなげていきます。



◆今年度の主な取組みと次年度の予定

燕三条地域企業の東南アジアでのビジネスチャンス拡大のため、シンガポール共同事務所の駐在員と連携し、燕三条の金属製品や日本酒、コメなどの販路開拓を行いました。

その中で、現地日本料理店の新店舗開業に伴い、金属洋食器、テーブルウェアなどの燕三条製品を提案し、採用していただきました。

また、シンガポールの富裕層等を対象にした観光誘客活動により、燕三条への観光ツアーが今年度4回(延べ45名)実施されました。

更に、バンコク(タイ)、パリ(フランス)、フランクフルト(ドイツ)、シンガポールで開催のビジネス展に地域企業と一緒に出展し、約500件の引き合いがありました。現在、それぞれの案件について、地域企業への新規受注や販路拡大につなげるためのフォローアップを行っています。

次年度は、海外輸出を検討する地域企業を積極的に支援するため、ジェットロとの共催により東南アジア及び欧州からバイヤー等を招へいしての商談会を開催する予定です。

